

佐々木 肴町の方なんて、駅から川ふたつ超えて行かないといけなくて、駅からお客さん引っ張るのはなかなか難しいんですよ。そういえば、この前うちの娘が小学校で、社会の副読本を受け取ってきたんですよ。盛岡市の教育委員会が作っているもので、盛岡市内の各地区が紹介されているんですが、説明の一番最初に書いてあるのが県庁や市役所がある内丸地区。その次は駅前で、さらにその次は太田・盛南地区なんですよ。もう即電話しようかと思いましたね。自分たちがいるのは河南地区。娘には「こんなのは信じちゃいかな」と話しましたよ。何が恐ろしいって、あれを教科書として子どもたちに教えていること。松園や青山とか市内の他のエリアに住んでいる子達がたくさんいるはずなのに、さも都市計画で盛岡市がスプロールしたところを辿っていくような内容になっていて。少なくとも、自分の肴町を含めた河南地区が触れられていない教科書が、「わたしの盛岡」って題名が付いていることが正直腹立たしい悲しいですよ。で、見ると先生方が編集に携わってらっしゃるんですよ。だから社会の先生方の頭の中の地図がひょっとしたら、官公庁があって、駅前があって、駅裏に伸びていくような生活地図になっているんじゃないかと思って、ちょっと恐ろしくなりましたね。中心市街地や河南地区、大通り、菜園がないんですよ。この勢いで授業されたら河南地区なんか子供の頭の中からも無くなってしまって、あるのは盛南地区だけ、なんてことにならないかと。少なくともうちの娘には「あなたが暮らしているのは河南地区です。河南地区を副読本改訂してガッチリ記載してほしい、と先生に提出している日記にかけ！」って言いました。(笑) やっぱそれくらい強い気持ちでいないといけないうんですよ。

高田 おかしいですね。

佐々木 いや、びっくりしますね。

高田 我々も Nanak さんにお世話になっていた時に、肴町のあたりは役所関係の施設があって、城跡公園があって、盛岡の歴史的な建物が多くあって、バスターミナルがきて、それからどんどんマンションが建ってくるのを見て、このあたりが盛岡の中心だと思っていました。でも Nanak さんが閉店してしまったものだから、非常にショックを受けていたんですよ。あそこがこれから絶対、中心地になっていくんだろうなと思っていたんですけどね。

佐々木 気概だけは中心地なんですけどね。やっぱりまあ統計を見ると、このあたりのいわゆる桜城小のあたりは所得の多い方たちがいるというのが数字で出ていて。そういう意味では商売をする場所としては適地なんですよ。これから肴町も徐々に適地化していく予定でして。バスセンターもいよいよ、今年の10月から着工になってやっと体制も整って参りました。あと、Nanak さんも株式会社カガヤさんという建築会社が購入されて、周りの地権者の方々を集めて組合を作られました。あとはもう少し離れたところに「もりおか啄木賢治青春館」というちょっと古めかしい、おしゃれなところがあるんですが、その裏が駐車場になっていて、2、3年以内に岩手銀行の関連企業が集まるビルが建つという話もあります。さらに城跡公園の広場では、ミナペルホネンというファッションブランドをやられている皆川明さんが芝生広場にショップを出されるという話があります。もともと盛岡市としては、あそこに公衆トイレを作りたいんですよ。でもお金も充分に民間の投資を認めて公園を活性化させていくという方向にしてコンペがあり、それに皆川さんが手を挙げた。皆川さんのお親族が盛岡近郊に住んでいる関係もあって、盆・暮れは盛岡を通っているうちに、「盛岡はいいまちだから、私も何かできないか」って考えていたらしいです。そんな時にコンペに出るチャンスがあった。この件でおもしろいなと思ったのは、皆川さんはそのショップの前に田んぼを作るという話をされていて。「芝生公園を潰して田んぼを作るなんてとんでもない」って、おじいちゃんおばあちゃんたちがすごい騒ぎ出しているんですが、うちの娘たちに聞いてみると「なにそれ、楽しそう」みたいなことを言っているんですよ。真っ二つとまでは言わないですけど、いろんな意見がある中で、皆川さんが来ることで盛岡の未来に対して、少なからぬ影響があると思いますね。Nanak さんが閉店してしまった事件と一緒に、あれは本当に肴町にとってはかなり大きい事件。もちろん御社にも大事件だったと思うんですけど、皆川さんが盛岡に来るのは、いい意味で、未来を変えていくようなインパクトのある大きい話だなと。それが一気にここ5年くらいで起きるので、すごい楽しみなんですよ。やっと戦える形になるなど。それで中心市街地にもっとお客さんの目が向いてくれるとあとは波に乗っていくんじゃないかと思っています。駅とバスセンターとの往来の中に、要所としてあるのがこのクロステラス盛岡であり、モスビルであると思うので、市内全体に効果が出てくると思いますね。すごく楽しみです。

高田 楽しみです。我社の支店も、青森、弘前、八戸、盛岡、そこから南下して様々な都市にお店があるんですがそれらのまちと比べても、城下町として歴史がありながら、垢抜けたところがあってこれからおもしろくなりそうなのが盛岡です。弘前も城下町でいいまちなんですけど、土手町の商店街くらいで、あとはそれらしいところがないんですよ。元気が全然ない。青森市も行くたびに衰退しているんですよ。どの商店街も建物が壊れていたりとかしているんですよ。

佐々木 結局財政支援、財政支援でばばん資金を入れている状況ですよ。

三田 さっきのミナペルホネンさんの話に戻ると、皆川さんはお店を代官山や表参道、金沢、松本、京都に出されているんですよ。どこも味わいのある建物を使ってらっしゃって。なので、皆川さんがそのまちと同等に盛岡を見ていただいることがありがたいなと思います。その代わりに自分たちがこれからもやっていかないとけないという気持ちになりますね。